



豊田市駅前商業協同組合

活性化基本計画

第三期計画

2016年～2018年度

「再開発後のメインストリートの  
あり方をまとめる計画推進を進める」



## 第2期の主な活動報告

### ○豊田市国際会議に合わせた「おもてなし事業」開催

2015年1月16日（金）豊田市で開催された国連との共催の国際会議に合わせて外国人おもてなし事業を開催しました。このイベントは日本文化を体験して頂く機会として「日本の音楽」「日本文化体験」「外国語対応マップ制作」の3つを核に、再開発で残念ながら閉店する店舗「カメラの店白樺」「おもちゃのマルモリ」を会場として開催しました。

当日は500人近い来場者に恵まれ盛大に開催出来ました。

また、英語対応のエリアマップも作成し高い評価を戴きました。



### ○おいでんまつり観客席の設置

毎年7月最終の土日に開催される「とよたおいでんまつり」

多くの観衆の皆様の便宜を図り、当組合フラワーポットをゆっくり座って見られる観客席として用意をし解放して好評を頂いております。



### ○毎年5月のふれ愛フェスタイベントの実施

中心市街地の11の商店街共催のふれ愛フェスタのメイン会場として、各種イベントを毎年開催し多くの来街者にお楽しみいただきました。

また、行政の事業にも積極的に協力し、「あそべるとよたプロジェクト」「緑化推進」「新交通体験・紹介」「環境運動」「農山村との交流促進」などのお手伝いもさせて戴きました。



### ○駅前情報掲示板の積極活用と撤去

おいでんビル前に設置した情報掲示板を積極的に活用。

再開発実施前は移転先や閉店セール告知などを行い運用。

残念ながら平成26年12月にて再開発工事のためその運用を終了し撤去まで活躍した。



### ○ホームページやSNSによる積極的な情報発信

ホームページの維持管理だけでなく第2期は研修事業として勉強したSNSの活用を推進した。

FACEBOOKページの作成・Twitterでの随時情報発信を行い多くのアクセスを戴いた。



## 第2期活性化事業の検証

大部分類	中分類	事業名/内容等	特記事項	実施
取り組み① メインストリートにふさわしい商品とサービスの提供をめざす取り組み	①一店逸品運動への参加店の勧誘	継続 一店逸品運動	実行委員会自体が休会となり単独では開催できず。	×
	②専門店カアップのための勉強会開催	継続 加盟店舗レベルアップ講習会・勉強会	Facebook活用セミナーを実施/参加者10名	○
取組② イベントや情報掲示を利用し賑わいと認知度の向上を目指す取り組み	①情報掲示板の設置	継続 商店街情報掲示板	2015年1月末まで運用し再開の為撤去。撤去までの期間を最大限に活用。再開発移転先告知などにも活用。	◎
	②共催イベントの実施	継続 中心市街地で実施される各種団体との連動したイベントの実施	まちパワーフェスタ・まちパワーフェスタミニ・ふれ愛フェスタ・イルミネーションストーリー・スタジアムイベント・コモスクエア【ジャズスクエア】等のイベント開催時に併せ、当組合が計画に関わり、メインストリートの賑わいを創出する事業を随時的確に実施&誘致した。	◎
		継続 グランパスエイトホームタウンとしての活動	グランパスだけでなくCOMO広場にて名鉄MANAKAカード事業とも連動、クーポンの協力も実施/まちなかサポーター加盟店舗を中心に実施。	◎
	③ホームページ管理	継続 駅前通りバル	平成25年度に中心市街地合同で実施し、当組合も積極的に参加。以後全体での実施計画がないこと再開発準備で加盟店の閉店問題もあり1度だけしか実施できず。今後再開発以後に再スタートをみる。	△
	継続 商店街ホームページの維持管理、運営・連携	組合事業の見える化を進めるとともに小画面のスマホでも見やすいデザインに毎年改革を実施。Facebookの積極的活用を実施	◎	
取組③ 快適で安全安心なまちづくりに貢献する取り組み	①商店街景観の検討	継続 商店街ファサード、屋外広告看板ルール、歩道・街路灯の検討	北地区再開発事業にて北側歩道拡幅や街路灯などについて各種会議に参画し提言を進める。都心計画に反映のため代表理事が有識者会議に参画。都心交通を考える会でも答申を続ける。	○
	②舗装・アーケードの維持管理検討	新規 北地区再開発完成までの維持管理改修計画の策定	北地区再開発準備組合とアーケードの撤去などを中心に検討を重ね一部を平成25年1月末にて撤去。	◎
		継続 落書きの除去作業	違法ステッカーが頻繁に張られその都度撤去清掃を実施。	◎
	継続 自転車の歩道通行の規制徹底	都心交通を考える会「交通まちづくり部会」との連動を軸に歩道の安全策を実施。	◎	
取り組み④ 再開発事業に関する取り組み	③北地区再開発準備組合への関与	新規 近接商店街組合との連携又は合併の検討	当地区だけでなく再開発に面する商店街とも連携して検討を重ねたが各組合との合意が得られず実現に至っていない。また、近隣商店街の廃止があり交渉が難航している。	×
		新規 北地区再開発のアミューズメント施設との連携の検討	検討部会を立ち上げ、シネコン業者のイオンエンターテインメントと相談。シネコンの多目的利用を中心に相談中。	○

概ね予定の計画を実施してきたが

- ・「一店逸品運動」(活動母体が休止)
- ・バル事業(一年のみ実施)
- ・近隣商店街との合併推進については計画通りに行かなかった。



# 地域住民の商店街へのニーズの把握と商店街の現状と課題の分析

## 1. 利用同行者についての分析

どなたと一緒に出かけられますか？	一人で	夫婦・恋人と	親子で(就学前の子供あり)	親子で(就学前の子供なし)	その他家族と	友人・知人と	その他	回答者数
豊田市中心市街地商店街	42.8	25.9	10.9	8.0	10.0	23.9	1.5	201.0

## 2. 利用サービス評価の分析

便利	自宅・職場から距離が近くて	営業時間が長くて便利	品揃えや種類が豊富	流行のものが選べる	好きなお店・ブランドがある	高価なものから安価なものまである	魅力的なレストランや飲食店がある	売場や店の配置が分かりやすい	セールや割引が多い	優待割引やポイントカードがよい	接客・サービスがよい	魅力あるイベント・催事がある	折り込みチラシなどをみる	メール(PC・携帯・スマホ等)での案内をみる	ネットショッピングができる	公共交通で利用しやすい	車で利用しやすい	休憩スペースが多い	施設のバリアフリーが充実
12.3	0.8	2	0.5	2.3	1.3	3.5	1	3	1.8	0.8	0.7	1.7	0	0	8	8	0.3	0.2	

## 3. 利用理由の分析

	回答者数	買い物	飲食	豊田市の中央図書館(参考館)	市役所や公共サービスを利用	待ち合わせ	友人と会うため	銀行など金融機関の利用	イベント・コンサート	病院など医療機関の利用	スポーツ観戦(豊田ホース・アムやスカイホール)	豊田市のコンサート(豊田・能楽堂)	理美容、エステ	趣味・けいこ	豊田市の美術館	仕事・商用で(通勤以外の)	スポーツジム	勉強(英会話など)	街の雰囲気を楽しむ	パチンコなどを	その他
全体	(n=438)	76.0	58.9	31.3	28.1	27.2	22.4	13.9	13.0	11.2	9.1	8.9	8.2	8.2	4.3	3.2	1.8	1.6	1.1	2.7	
アエ別																					
豊田市	(n=367)	76.6	59.7	34.6	30.8	27.8	25.9	13.1	13.4	10.4	9.0	9.0	8.4	4.4	3.5	2.2	1.9	0.5	3.3		
豊田市外	(n=71)	73.2	54.9	14.1	14.1	23.9	4.2	18.3	11.3	15.5	9.9	8.5	4.2	7.0	4.2	1.4	0.0	0.0	4.2	0.0	
性別・年代別																					
男性																					
20~30代	(n=45)	66.7	55.6	28.9	20.0	28.9	20.1	17.8	11.1	15.6	4.4	6.7	4.4	4.4	2.2	2.2	4.4	4.4	4.4	0.0	
40代以上	(n=48)	64.6	52.1	25.0	25.0	16.7	20.8	12.5	10.4	12.5	6.3	8.3	6.3	6.3	8.3	4.2	0.0	4.2	2.1	2.1	
女性																					
20代	(n=62)	77.4	66.1	35.5	24.2	53.2	12.9	12.9	12.9	12.9	1.6	8.1	4.8	6.5	3.2	4.8	0.0	0.0	1.6	3.2	
30~40代	(n=157)	80.9	56.1	35.7	32.5	19.7	21.0	12.1	12.1	12.7	7.0	8.9	10.2	5.7	2.5	1.9	3.2	0.6	0.6	3.2	
50代以上	(n=126)	77.0	55.6	27.0	28.6	27.0	33.3	15.9	15.9	6.3	18.3	10.3	9.5	14.3	6.3	4.0	0.8	1.6	0.0	3.2	
族同居形態																					
乳幼児	(n=119)	77.3	57.1	35.3	42.0	27.7	21.0	12.6	15.1	10.9	6.7	5.9	9.2	10.9	2.5	1.7	3.4	0.8	0.0	5.0	
小学生	(n=101)	80.2	64.4	40.6	30.7	20.8	27.7	17.8	9.9	19.8	6.9	7.9	8.9	5.9	4.0	1.0	2.0	0.0	1.0	3.0	
70歳以上の方	(n=88)	76.1	54.5	25.0	28.4	22.7	27.3	15.9	14.8	5.7	9.1	8.0	11.4	8.0	5.7	2.3	3.4	1.1	0.0	2.3	
中心市街地来街頻度別																					
ほとんど毎日(週5回以上)	(n=45)	80.0	71.1	42.2	24.4	42.2	31.1	11.1	15.6	13.3	6.7	17.8	11.1	17.8	11.1	4.4	6.7	2.2	2.2	0.0	
週3~4回	(n=27)*	88.9	81.5	44.4	44.4	29.6	48.1	25.9	25.9	18.5	11.1	11.1	22.2	14.8	11.1	3.7	3.7	3.7	0.0	11.1	
週1~2回	(n=117)	81.2	68.4	36.8	27.4	29.1	27.4	7.7	10.3	12.8	7.7	10.3	14.5	9.4	5.1	5.1	1.7	0.9	0.9	2.6	
月1回くらい	(n=139)	76.3	57.6	30.9	25.2	28.1	15.8	17.3	15.8	7.9	10.1	7.9	4.3	5.8	2.9	2.9	0.7	1.4	0.7	2.9	
2~3ヶ月に1回	(n=66)	66.7	40.9	22.7	34.8	19.7	19.7	10.6	10.6	15.2	7.6	7.6	1.5	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5	3.0		
年1~2回以下	(n=44)	63.6	38.6	11.4	22.7	13.6	9.1	20.5	4.5	4.5	13.6	0.0	2.3	4.5	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	
週3回以上	(n=72)	83.3	75.0	43.1	31.9	37.5	37.5	16.7	19.4	15.3	8.3	15.3	16.7	11.1	4.2	5.6	2.8	1.4	4.2		
週1回以上	(n=189)	82.0	70.9	39.2	29.1	32.3	31.2	11.1	13.8	13.8	7.9	12.2	14.8	12.2	7.4	4.8	3.2	1.6	1.1	3.2	
月1回以上	(n=328)	79.6	65.2	35.7	27.4	30.5	24.7	13.7	14.6	11.3	8.8	10.4	10.4	9.5	5.5	4.0	2.1	1.5	0.9	3.0	
度地中の来街頻度別																					
減った	(n=108)	75.0	54.6	26.9	25.9	35.2	19.4	14.8	13.9	7.4	12.0	8.3	4.6	7.4	3.7	2.8	2.8	1.9	1.9	2.8	
変わらない	(n=266)	74.8	60.2	32.0	28.9	24.4	23.7	13.5	12.4	13.2	8.3	9.0	6.0	7.1	3.8	3.8	0.8	0.8	1.1	2.6	
増えた	(n=64)	82.8	60.9	35.9	28.1	25.0	21.9	14.1	14.1	9.4	7.8	9.4	23.4	14.1	7.8	1.6	4.7	4.7	0.0	3.1	

\*印は回答者数が少ないため参考値

※全体より10%以上高いものに青色網かけ

※全体より10%以上低いものに赤色網かけ

出典：平成 26 年 3 月 豊田市中心市街地活性化に関する調査より

## 4. 利用しない理由の分析

- 「魅力的な店舗・施設がない」が最も多く挙げた。次いで、「駐車場が使いにくい」「他エリアを利用」と続く。
- 豊田市中心市街地へ行かない、増えない理由として、全体的に回答から、交通・駐車場が不便で、わざわざ行きたいと思わせる店舗・施設がなく、他のエリアの施設の方が魅力的であるということが示唆される。

## 5. 新施設期待の分析

- 「いろいろなグルメが味わえる飲食店街」が最も高く5割半ば。「買い物に便利な駐輪場、駐車場」「映画館・シネマコンプレックス」も5割台。
- 「市街地へ来る回数は変わらない」「わからない」とも高いのは、「貸ホールなどのコミュニティ活動に使えるスペース」と「カーシェアリングやレンタサイクルなど環境負荷軽減の施設サービス」、「家族連れや子供が安心して利用できる買物施設」「子供が安心して遊べるスペース」など家族・子供関連施設の要望が高い。

## 6. 不足しているもの分析

- 「買い物を楽しめる街」「まち歩きが楽しい街」「わくわくする街」が3割半ば。「おしゃれをして出かけたい街」「クルマで行くのに便利な街」が3割前後。
- 「男性・40代以上」で「わくわくする街」、「女性・20代」で「絶えず変化している街」が高い。
- 同居家族形態別の「乳幼児」で「子育てに便利な街」、「小学生」では「家族で楽しめる街」が高く、家族や子供関連イメージが不足しているという印象。

## 7. 現状と課題

- チェーン店が増え特色が無く、ここにしかない強みがない
- 昼間営業していない居酒屋や飲食店が増え連続性を阻害
- 商店街に加盟はしているが、協力や提言が無く活動が一部の特定店に限られる。
- 組合活動後継者がいなく、現理事の高齢化。
- 再開発による老舗店舗の廃業・移転

北地区再開発事業・都心環境計画を絶好の契機ととらえ  
魅力ある店舗の導入や新規加盟店の会員の加盟による、新陳代謝とやる気・活性化に期待する。

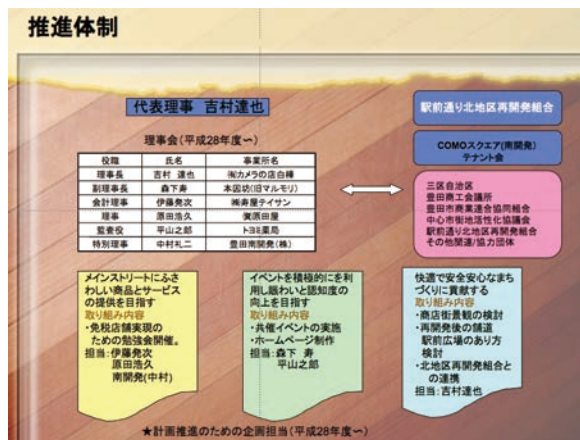


策定趣旨 位置付け	駅前通り北地区再開発事業の完成を間近に控え、完成後のメインストリートとしてのあり方と活動を計画する大切な時期ととらえ、都心環境計画や中心市街地活性化計画と連携し、将来の石づえを築く考えをこの3年間でまとめていく。(平成28年4月～平成31年3月)
--------------	---

エリアの展望	駅前通りの可能性	基本方針
<p><b>【エリアの将来展望】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○再開発事業完成により昼間人口の増加予想 (30万人/年)</li> <li>○マンション・高齢者施設により居住人口の増加 (500人以上)</li> <li>○商業集積による売り上げ高の増加予想</li> <li>○中心地の魅力向上による来街者数の増加</li> <li>○シネコンを核とした駅周辺エリアへの波及効果と滞在時間の増加</li> </ul> <p><b>【取り巻く外的不安要素】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市外近隣エリアの驚異増大 (ららぽーと・イオン・IKEA等)</li> <li>●工事期間中の賑わい減少</li> <li>●計画による交通アクセスの不便</li> <li>●再開発による永年商業者の転出</li> <li>●老舗名店の閉鎖・転業</li> </ul> <p><b>【目指す将来の方向】</b> 再開発整備を機に、町へ来る楽しさ過です楽しさを体感できるあたらしいメインストリートの構築の一助をになう活動を推進していく。</p> <p>(実現に向けた重要な視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○来街者数の増加</li> <li>○滞在時間の増加</li> <li>○店舗100%加盟による面的展開</li> <li>○次世代につなぐ新たなリーダー・スタッフの育成</li> <li>○メインストリートの魅力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シネコンの完成により年間約30万人の来街が予想され豊田市の玄関口として賑わいの再興が予想される</li> <li>○都心環境計画・中活計画の実施により新たな駅前広場など滞在できるエリアとしての魅力向上が見込まれる。</li> <li>○スタジアムや中心市街地での各種イベントの会場としての活用が見込まれる。</li> <li>○再開発による新店舗導入による買い物拠点の再興。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国際交流拠点として                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からのインバウンドの流れを受け止めることが出来る市内唯一のエリアとしての期待</li> <li>→免税店舗の導入・拡大の必要性</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市内交流拠点としての役割 (都心と農山村の共存)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通結節点として市内山間部との連動により、各種物産販売や交流イベント等の実施により、市内循環をめざす。</li> <li>・WE LOVE とよたを実践するステージとしての役割。</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○クルマの街としてのイメージの具体化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界に誇るクルマの街として現時点では実現できていないが今後の整備計画の中で、提言を継続し、来街者が期待するクルマのイメージある街を具体化する場を目指す。</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様なスタイルの混在するライフスタイルの実践                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・130戸が入居するマンション住民による新たな居住エリア</li> <li>・経験豊かなお年寄りが入居する高齢者施設との地域・世代の交流促進</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○長年の経験と実績による地域エリアの先導                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・他商店街との連動</li> <li>・ // との共催行事の計画・催行</li> <li>・地域計画への提言と協力推進</li> <li>・将来的な組織づくり</li> </ul> </li> </ul>	<p>再開発後のメインストリートのあり方をまとめる計画推進を進める。</p> <p style="text-align: center;"><b>基本目標 (目標設定の考え方) と主な施策</b></p> <p><b>基本目標① 豊田市のメインストリートとしての『賑わいの創出』と『多様性の創出』&amp;『再開発を見込んだ将来像の創出』を目指す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期～2期活性化計画の成果を維持継続し、さらに発展させる。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市中心市街地活性化基本計画・都心環境ビジョンに沿ったものとする。</li> <li>・北地区再開発完成後を見据えての計画準備を進める。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【主な施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新規・免税ショップ実現への取り組み</li> <li>②北地区再開発のアミューズメント施設との連携の検討 (2期より継続)</li> <li>③近接商店街組合との連携又は合併の検討 (2期新規から継続)</li> <li>④再開発入居店舗の100%加盟による組織力強化と活動内容の検討。</li> <li>⑤駅前エリアでの集客イベントの継続・計画の推進。</li> </ul> <p><b>基本目標② 人の流れ、賑わいづくり ～魅力をつくり、新たな人の流れを生み出す環境をつくる～</b></p> <p>北地区再開発のアミューズメント施設と商店街との連携について検討し、施設完成後の盛り上げを図る。</p> <p><b>【主な施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○イオンモール等では当たり前になりつつある、入場券の提示で、グルメなどの優待サービスが受けられる商店街造りをめざす。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「町をショッピングセンターと見立てて…」を実現する機会ととらえる。</li> </ul> </li> <li>○スタジアムストリートとしての行動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>：ラグビーワールドカップ2019開催を機とした、国内外からの誘客促進ほか</li> </ul> </li> </ul> <p><b>基本目標③ 安心してゆっくりと安らげる居場所作り ～安心と安全の居場所づくり～</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単なるお買い物や飲食の場ではなく、長時間ゆっくりと安らげる居場所作りを目指し各種計画と連動した推進を目指す。</li> </ul> <p><b>【主な施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>快適で安全安心なまちづくりに貢献する取り組み内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街景観の維持・検討 (フラワーポッド事業の継続)</li> <li>・再開発後の歩道エリア内広場 / 駅前広場のあり方・使い方の検討</li> <li>・北地区再開発組合との連携</li> </ul> </li> </ul> <p><b>基本目標④ 地域コミュニティとの連携強化 商店街と新規住民をつなぐ環境の実現と役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この街に住んで良かったと思う地域を目指すと共に、楽しさや豊かさ、地域参加型の多様な参画により街を盛り上げる意識作りを進める援助を行う。</li> </ul> <p><b>【主な施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとへの愛着づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>：WE LOVE 豊田を浸透させる活動 / 地産地消・地域資源発掘の推進ほか</li> </ul> </li> <li>まちづくりにおける官民連携・共働の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>：新規住民のボランティア参画や共同開催事業を目指す。(マンション入居時以降)</li> </ul> </li> </ul>

# 第3期の活性化事業計画(案)

	事業名	内容	特記事項	実施時期	概算予算	
取組1 メインストリートにふさわしい商品とサービスの提供を目指す取り組み	①免税ショップ対応店の導入	新規 中部経産局よりご指導を受け、導入実現に向け検討を開始	中心市街地の動向を見つつ、タイミングを逃さず積極的に参加店舗を募る	H28年～	20万円	
		新規 外部講師や魅力有る経営者による講義	世情に併せたタイムリーな内容と講師を探り実施。	H28年～	30万円	
	②専門店カアップのための勉強会開催	新規 専門講師による各店の陳列や装飾に関する訪問指導	ブラックボード講習会や中小企業診断士による臨店チェック等店舗向上につながる講習を計画	H28年～	30万円	
		新規 各店の魅力・弱点などを組合員にてディスカッション	イベント時以外でも組合員を招集し組合員についての意見交換を行う場を設ける	H28年～	10万円	
取組2 イベントや情報掲示を利用し賑わいと認知度の向上を目指す取り組み	②共催イベントの実施	継続 まちパワーフェスタミニとの連動したイベントの実施	まちなか宣伝会議と連携し、テーマに沿った商店街イベントを実施	H28年～	60万円	
		継続 スタジアムイベントとの連動イベントの検討	通行客の多くなる試合開催日を中心に各種おもてなし事業を、まち宣・スタジアム・体育協会下町おかみさん会等と協力し開催。(おしるこ配布等を開催)	H28年～	60万円	
		継続 ふれ愛フェスタと連動したイベントの実施	ふれ愛フェスタ全体の実行委員会と連携し、当商店街だけでなく中心市街地全体の連動を考えたイベント実施を実現。	H28年～	250万円	
		継続 よるの賑わい創出(イルミネーション)と連動したイベントの実施	イルミ実行委員会と連携し、商店街内の装飾&賑わいに寄与	H28年～	60万円	
		継続 おいでんまつりと連動(観客席の設置と各店舗前ワゴンセール)	おいでんにはなくてはならない観客席として設置を実施。再開発エリア歩道整備時期まで	H28年～	30万円	
		継続 週末ミニライブの検討	コモスクエアが取り組みJAZZストリートとの融合を積極的に模索	H28年～	50万円	
		継続 グランパスエイトホームタウンとしての連携強化	車利用者だけでなく公共交通利用者への優待の拡大策を検討 まちなかサポーター加盟店舗を中心に実施	H28年～ H28年～	30万円 36万円	
	③ホームページ制作	継続 商店街ホームページのリニューアル、運営	スマホ対応・facebookを中心としたSNSによる情報発信の展開を実施していく	H28年～	36万円	
	取組3 快適で安全安心なまちづくりに貢献する取り組み	①商店街景観の検討	継続 商店街ファサード、屋外広告看板ルール、歩道・街路灯の検討	北地区再開発事業にて北側歩道幅や道路活用・街路灯などについて検討。	H28年～	—
			継続 落書きの除去作業	サラ金などの違法ステッカーが頻繁に貼られ、その都度撤去清掃を実施。落書きについてはスケボーチームへの注意指導をやっていて行ったことから減少傾向にあり引き続き維持に努める。	H28年～	6万円
②舗装・アーケードの維持管理検討		継続 中活基本計画のフラワーロード計画との連携	当組合から関連する団体部署への呼びかけを行うが地元自治区との調整決定次第実施(中活事務局)その後会議が実施されず未確定	H28年～	20万円	
		継続 再開発計画	順調に進みH29年11月完成予定	H28年～	—	
③北地区再開発準備組合への関与	継続 再開発商業委員会への参加を中心に商店街としての提案を行う	完成後の入居テナントの100%加盟をめざし、再開発組合と連携計画	H28年～	10万円		
取組4 将来に向けての取り組み	周辺商店街との統合検討	新規 周辺商店街と研究会を立ち上げる	北再開発完成時の合併実現への諸問題を解決すべく他組合と調整交渉	H28年～	20万円	
取組5 WE LOVE とよた	ふるさとへの愛着づくり	WE LOVE とよたの活動を通じて地元愛を高める	ステッカーの積極的活用・地産地消メニューなどの取り組み依頼・土産物の取り組み促進		10万円	



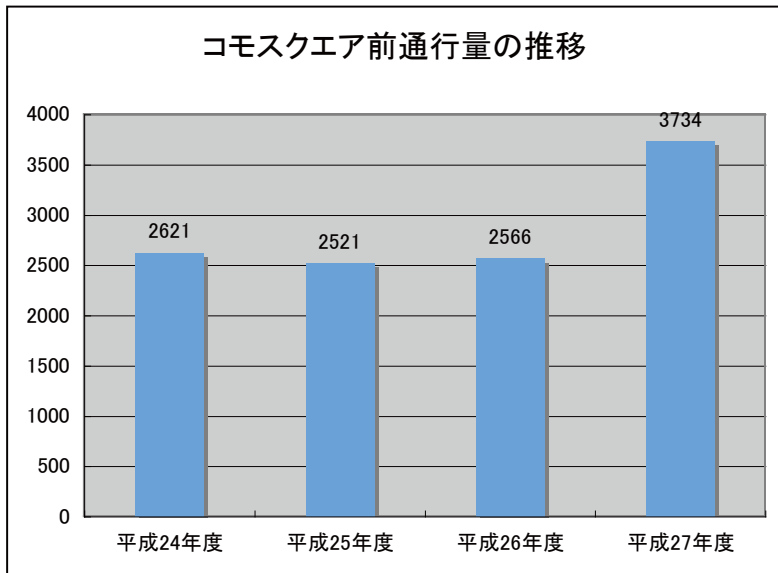
※3年間の予算

今期は北地区再開発工事のため組合理事5名の内、4名がエリア外に転出中と言う状態であるがいずれも地権者としての権利を残しており、組合理事として引き続き協力戴けることとなり引き続き現体制にて推進体制を取っていくこととする。

再開発テナント決定後は新ビルのテナント会・管理組合からも理事を選出戴き体制を強化していくものとする。



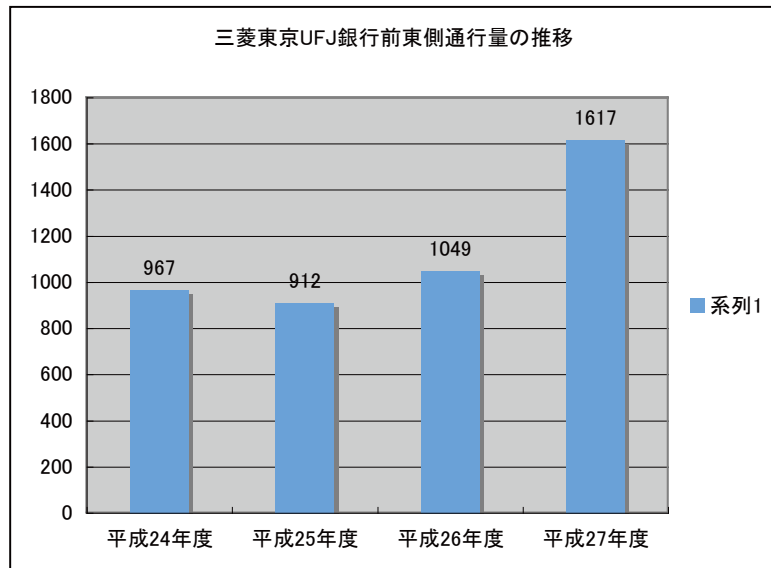
# 指標とする通行量の推移（検証）と今後の目標



↑指標とする計測地点でのグラフ

※数値はいずれも一日辺りの平均通行量

↓参考計測地点でのグラフ



※パロッシェー自動計測器による数値（豊田まちづくりより提供）  
 ※前回の指標はコモスクエア前のみだった。  
 ※平成27年度は、12月までの中均値。

## 検証

- 平成24年度を通常数値基準と考えると平成25年度より再開発事業準備で閉鎖店舗が発生し25-26年度の減少が顕著に表れている。
- 第2期計画の指標とする「再開発工事期間も通行量を減少させない」の指標を元に各種イベントの会場誘致や催行により平成27年12月の時点で、指標とする数値を上回る結果となった。
- この数値は北側の店舗が閉鎖・移転されたこと、北側歩道が年間ほとんど通行出来なかったこと、最大集客店舗の食品スーパー「やまのぶ」が閉鎖されたことを考慮すると健闘した数値であると思われる。
- 大きく貢献した事項として
  - 豊田スタジアムイベント  
（Jリーグサッカー・A代表サッカー戦・SKEライブコンサート）
  - ふれ愛フェスタ2015
  - 映画をいかしたまちづくりイベント
  - イルミネーションストーリー in とよた 電飾実施と点灯式・酒ナイト
  - おいでんまつり
  - 挙母まつり
 等が貢献していると考えられる。
- 北側の歩道通行止めにより南側歩道へもっと偏るかと思われたが数値からは、三菱東京UFJ前東も同等の数値推移をしている。

## ★今期の目標指標・数値

- 引き続きコモスクエア前（かわしん前）のパロッシェー自動計測器の数値を指標とする

### 達成目標

コモスクエア前 **2,860人/日（平均値目標）**  
**2,923人/日（中活計画の掲げる2.2%UP目標）**

※過去4年間の通行量実績の平均値より算出

参考/前回の期の目標数値は2,296人/日（達成目標）  
 2,552人/日（努力目標）

**努力目標 映画館集客によっては、更に2桁の大幅上積みを目指す！**

**北地区再開発事業と連携した商店街事業で目標の達成を目指す！**